

## 第5回二戸市総合計画審議会 議事録(要旨)

1 日 時：平成27年11月24日(火) 午後1時30分～午後3時30分

2 場 所：二戸パークホテル

### 3 出席者(敬称略)

#### (1) 委 員

阿部 悦子、安保 公一、五日市 真一、遠藤 享、久慈 浩、黒澤 克子、下館 光弘、永井 尚子、長葭 常紀、浪岡 正行、成島 英史、馬淵 貴尋

#### (2) 市 側

市長 藤原 淳、副市長 戸舘 弘幸、教育長 鳩岡 矩雄、総合政策部長 大沢 治、総務部長 田中舘 淳一、市民生活部長 佐々木 建一、健康福祉部長 阿部 満男、建設整備部長 山下 謙二、浄法寺総合支所長 三浦 幸治、教育部長 樋口 敬造

#### (3) 事務局

副部長兼政策推進課長 石村 一洋、政策推進課 副主幹 泉山 茂利樹、総務課 主任 向井 隆

### 4 会議の概要

#### 1) 開 会

#### 2) 市長あいさつ

第5回目となった。

本日は皆さんお忙しい中ご出席賜り御礼申し上げます。

実は先週の土曜日に福岡中学校の落成式があって、今まで改築か新築かということで悩んでいたところを前市長が英断して新しく建てるということで、完成した新しい校舎で落成してきた。

本当に中学生のみなさんをはじめ、中の校舎を見てみると建てて良かったなど、お金ではないと感じてきた。

日曜日には、健康フェスティバルということで、37団体の皆さんが集まりながら健康について、テーマを絞りながら出展したり、発表したりさまざまなことをやっていた。その中で、幼児の皆さんの歯科の表彰、あるいは、8020、80歳の方が20本歯があるという表彰をやっている、前まではこんなことをやめたらいいのではないかと思ったこともあったが、実際にあそこに行ってみて1人ずつ見たらやっぱりこれはやっていかなければならないと、ああいう人たちのためにまちづくりをしていかなければならないと改めて土日の中で感じさせられた。

また、今回、テーマや諮問ということでお願いすることになるが、中の方が決まって、問題点を出すと、何を目標にして市民の皆さんに分かりやすくまちづくりを進めていくのかという風なことを今日ご議論いただければと思う。

例えば、将来に向けて今までであれば教育文化都市を目指すのか、産業都市を目指すのか、都市づくりを目指すのか、もっとはっきりしろという風なことをご意見でいただいている部分もある。

何を目標にしながらまちづくりを進めていけばいいのか、農業を目指せばいいのか、産業の中で何を目標せばいいのか、それらと関係なく人づくりを進めて交流拠点を目指せばいいのか、そういう風なところを明確にしたらどうだというご意見ももらっている。

本日は、皆さんの時間の都合もあるかと思うが、私は何時まででも付き合うので、とことんご意見を言っていただければ次に諮問して答申いただくときにある程度まとまったものができるのかなと

いう風に考えている。

どうぞ皆さんよろしくお願ひしたい。

### 3) 議 事

#### ○会長

皆さんこんにちは。悪天候の中ありがたい。

本日は5回目の審議会となった。今市長のあいさつと私にきた連絡と違う。1時間半程度、3時までに市長は久慈に行かなければならないというお話だった。先ほどのあいさつでは何時まででもいいということなので、そこのところを確認して、できれば3時ちょっと過ぎくらいまでにしたいと思うのでよろしくお願ひする。

それでは議事に入る。

議事1 第2次二戸市総合計画、基本構想案及び前期基本計画の諮問について事務局から説明をお願ひする。

#### (1) 第2次二戸市総合計画・基本構想(案)及び前期基本計画(案)について(諮問)

【資料の説明(政策推進課長が内容説明)】

#### ○政策推進課長

ここで、市長から二戸市総合計画基本構想、前期基本計画についての諮問を会長にさせていただきたい。

委員の皆様はお手元の諮問文の写しをご覧いただきたい。

#### ○市長

二戸市総合計画審議会会長、久慈浩様。二戸市長藤原淳。第2次二戸市総合計画について、二戸市総合計画審議会条例により当市の総合的な計画の策定に関し、基本構想及び前期基本計画の基本的事項について貴審議会の意見を求める。

よろしくお願ひしたい。

#### ○会長

ただいま市長から総合計画案について諮問をいただいた。計画案は前回の皆さんからの意見を踏まえ、修正も加えられ、キャッチフレーズ案も出していただいた。

今回の審議会の意見を踏まえて次回に答申を行うということなので、本日は皆さんからこの計画案に対する率直なご発言をいただきたいと思う。

計画の全般的なことや分野ごとの内容などどんなことでも結構なので積極的な発言をお願いしたい。

#### ○委員

何かないかと必ず言われると思うので先をお話させていただきたい。

気になったのは、計画でいうと9ページ、見開きで言うと一番左のみんなの夢、30年後の未来像、細かいところは申し上げないが、全体で見ると委員のみなさんの意見とか、それぞれでお話のあった住民の方々の意見などが良く入っていると思うが、みんなの夢、30年後の未来像があり、「人が輝き未来をひらくまちにのへ」というキャッチフレーズを作っている。良く作っていただいているが、30年後の二戸をイメージしなくてはいけない訳だから、30年後にまた未来をひらくのという、そういうことである。

ここは、30年後の二戸がこうなっていますよというようなことを書くべきだと思います。1つずつ見てみると、1ページの手前のみんなの夢というところであるが、そこに「人が輝き未来をひらくまちへの」であるが、未来をひらくのではなくてひらかれた未来である。30年後はもうひらかれているものをイメージしてキャッチフレーズを作るべきだと思います。

もう1つ、まちのイメージであるが、まちのイメージも30年後がこういうまちだということであるから「魅力を活かし未来に挑戦できるまち」ではなくて、挑戦してはいてはいけない。挑戦しているまち、あるいは言い方が違うかもしれないが挑戦しているまちとか、豊かに暮らせるまちではなくて、暮らしているまちとか、そういう30年後の二戸をイメージした、実感できるではなくて実感しているとか、そういう形ではないかと思う。

それから、市長さんのあいさつの中で、どういうまちづくりを目指していくんだというところで、個々のものをこういうまちを目指す、こういうまちを目指すという方法もあるしということをおっしゃっていたが、私もそのとおりだと思う。やはり総合計画なので地域の方たちがみんな納得できるようなそういう計画の方がいいと思うのでそういう点では今回の計画はよくできていると思う。

色んな方たちが拝見しても納得できると思う。そういう点では市長さんの考え方はちょっと違うかもしれないが、良くできているなという感じがする。

#### ○政策推進課長

おっしゃられるとおりだと思う。どうしても10年後に向けた行動目標を考えながら30年後の目標も考えているので言葉の使い方がどっちつかずになっている部分もあるのでそこは整理させていただきたい。

#### ○市長

挑戦しているまちという風になれば、そういうイメージというのが湧いてきて、こうしよう、ああしようというのが具体的に強く迫ってくるような気がする。この中で目指す姿という風なものが9ページにあり、人づくりと市民協働の2つが上がっているが、市民協働というのはあたりまえの話ではないかなと思う。ちょっと新鮮味がないなというので事務局とぶつかっているが、これも却下された。

市民協働は当たり前の話ではないか、人口が減っていくとみんなでまちを作っていくのは当たり前の話なので、その中で1つ提案したのが、地区と地区で人口が減ってくるとどうしても各部落とかで人が減ってくるので中心部と地域との交流、あるいは、二戸市と軽米、九戸、一戸との交流とか、カシオペアの中でも他との交流であるとか、それぞれの分野の中を行き来するということが絶対必要になってくる。

観光にしてみてもそうだが、観光という言葉を使うよりは先ほど会長と saying いたが、阿蘇に行ってみて阿蘇には何百万人来ているとか、そういう大きいものがないので何を持って交流を図っていけばいいのかというのが色々と考えさせられる。

何につけても交流という風なものが出てくるのかと、それが1つのキーワードなのかなという気がする。市民協働は当たり前の話ではないのかなという風に感じている。

最初に戻るが、委員さんのご提案については正にその方が、挑戦しているまちとかという表現の方がピッタリくるし、単なる目標ではなく、その時はそういう風になっているということを強く市民の皆さんに伝わる気がする。

#### ○会長

委員さんの意見は事務局で踏まえて、またパブリックコメントでも相当の意見が出てくると思うのでその辺を触れながら今の意見を修正したりいい方向に持って行っていただきたい。

## ○委員

大分形になってきたので、細かいところが気になってくるなど思っている。例えばみんなの夢、「人が輝く未来をひらくまちへの」、カギ括弧でのへのをひらがなにした理由というのは何かあるんだろうかと。やわらかく見せるためなのか、カギ括弧は何か理由があって、平仮名にするにも理由があってするものなので、こういったものが雰囲気で作っているようにも感じられる。

A3の資料だが、順番に行くと説明の中でみんなの夢の説明の後にいきなりネガティブな、良く言えば正直な文章がいきなり入ってくるが、人口減少が避けられない、活気がなくなるかも知れない、市の予算も少なくなって時間がかかるかもしれない、というような、なんとなく正直なところではあるが、いきなりネガティブというか、捉え方によっては言い訳がましい。

時代背景こうなんだからしょうがないでしょというものをいきなり突きつけられた感じがするので、背景というようなものを説明する、これからの時代はこういう風になっていきますという背景のようなものを設けた方が分かりやすいのではないかと思う。

人によっては、何で市の予算が少なくなっていくの、施設整備に時間がかかるのというのに直結しない人がある可能性があるので、これからの時代はこうなっていくという説明を設けた方が分かりやすくなるのではないかと思います。

順番に行くと、まちのイメージであるが、一つ目、魅力を活かし未来に挑戦できるまち、未来に挑戦、やっぱりちょっと分かるようで分からない、未来って挑戦するものなのというのがすんなり来ない。これは言葉の使い方だと思うが、未来に挑戦するというのが分かるようでわからないなと感じた。

みんなの目標、「挑戦します、次代へ紡ぐふるさとづくり」であるが、紡ぐという言葉で辞書で調べると綿をつむいでいて糸にするという言葉が一番最初に来て、その他の意味が例として無いが、ここだけこの言葉を使った理由というのを、紡ぐという言葉でどういう意図で出てきたのか分からないのでその辺りを説明していただきたい。

## ○会長

私も昨日から事務局に教わって、大討論をしてここに望んでいる訳であるが、この紡ぐというのを私は読めなかった。

それから辞典を引いてこういうことかと、でも、これを一般の人たちにポンと出たときに一般の方々分かるだろうか、そういう不安がうんとここにあった。

だから、その辺も踏まえてまず事務局から答弁をお願いします。

## ○政策推進課長

何点かあるので順番にご説明する。

まず、カギ括弧の二戸の理由であるが、カギ括弧自体の意味はあまりないが二戸も一番最初に漢字で書いてみたが、どうしても堅いイメージというか、市でのへのブランド海外戦略事業とかをやっているのが二戸が平仮名だったりするので、この頃役所の方で二戸という表記のときに平仮名を使っている例が多いということで平仮名にしているというのが偽らざるところである。

1ページのみんなの夢の下のあたりに、資料の方にもあるように急に人口減少は避けられない云々というネガティブな部分だということであったが、ここについては前回資料として出した時に、こういう風な思いがあったんだけど、それでもやって行こうよというのがありましたというのを踏まえて、そのままここに持って来ている。確かに時代の背景を入れながらということになればこのページのほかに本編というか冊子になる方ではある程度の説明を加えて実はということでは出してもいいのかなということはある。

みんなの夢から、あいさつ、序論、あるいは計画の特徴なりというあたりまで含めて、どこにどういう風書き込むか、あるいは省くところは省いてある程度分かりやすく見せるかということにつ

いては工夫をさせていただきたい。

未来への挑戦という部分については、分かるようで分からないというお話もあったが、ここについては先ほどの委員さんからのお話であるとおりの30年後のイメージであればもう完成されていてどうなっているということを表示するような表記に修正させていただきたい。

一番最後の紡ぐというところであるが、前回の審議会が終わった後で様々な中でも話をしている、次代へつなぐがいいのか、紡ぐがいいのか、伝えるがいいのか、とか様々なお話があった。最終的に紡ぐと私が決めたのでお話するが、確かに辞書を引くと繭から生糸を作る際の説明が一番最初に出て来る。ちょっと難しい言葉になっているかもしれないが、次の世代につなぐだけではないんだろなという気もするし、伝えるだけでもない、今いる人、あるいは物、地域の様々な物を縫い合わせながら作り上げて次の世代に送らなければならないのかなということも紡ぐという言葉を使っている。意味的にいいのか悪いのかも含めて中でも話をさせていただきたい。

#### ○市長

こういうものを1つずつ潰していかなければいいものはできない。確かに今あったような背景というものを入れながら、いきなりここに来ないで、背景というのはこういう風なことがあるから、こういう風なまちを作っていかなければならないというのは説明の中でどこかに入れなければならないと思う。

二戸というのは全体もそうだが、我々もそうだが、言葉の使い方、要はボキャブラリーがない。二戸をやわらかくするために平仮名を使っているというのが一般的である。

紡ぐについては教育長さんからお話いただきたい。

#### ○教育長

私も当局側であるので何でも言えないが、要するに編みこむというか編んでいくというか、そういう意味合いで使いたいという私はそういう風を感じた。この言葉もいいのかも知れないなという思いである。

#### ○会長

平仮名の二戸は岩手日報を真似したと思う。岩手日報のこの間の3年のニューヨークの1面の記事には「NYにのへに酔う」という見出しだった。その二戸は平仮名で大きく載っていた。今度、答申が出たら支局長にもその辺をでっかく書いていただいきたいと私からお願いしたい。

#### ○委員

二戸に関しては、平仮名を括弧にするということで、二戸広域、要は二戸市だけでなく二戸地域に含みを持たせるときに、私の考えであればそういう行事に良く使われていたりするイメージなので、二戸市の計画なので、二戸市で素直にいいのではないかと思う部分も私の中にはある。ただ、そういう思いが、いろんな人に見やすく、あるいは親しみやすくという思いがそこにあるのであればいいと思う。理由無く平仮名にしているケースも結構見受けられるので、その部分についても、今課長さんが言ったとおり、そういう思いが込められているという説明があればいいのかなと思う。

このみんなの目標が、来る前段に、これからはいろんなものを、地域の資源だったり、力だったりいろんなものを合わせていかなければいけない、だから我々も目標をこうしますという説明の仕方であるとなんとなく私は紡ぐという言葉がイメージできてくるのかなというのはある。今おっしゃったとおりの思いが込められているというのが説明があればいいのかなと思う。

その下の市民協働についてであるが、みんなの夢と10年間の目指す姿を比べたときに、例えば人が輝きというところが何となく人づくりを想起させるような気がするが、市民協働というのは頭のイ

メージの中で直結して来なかった。市民協働したからどうしていいのという人たちが結構いると思う。市民協働の言葉自体が分かるようで分からない人たちも多いと思う。目指す姿の2つ目に、協働で暮らしやすさを実現するまちというのがあるが、具体的に、市民協働で暮らしやすさってどういうことが想定されるのか。そのイメージが。

#### ○政策推進課長

今、目指す姿のところで市民協働の話が出た。さっき市長が却下されたと言ったが、却下したつもりはなくて、話がなかなかまとまらなかったのもそのままになっているというのが実情である。市民協働については、今の計画、平成23年からやっている後期基本計画でも市民協働でということ謳わせていただいている。どうしても、後期の計画を作るときの市民協働という風な、市民協働の意味というか、立ち位置の部分で人が減る、合併して5年経って行政側の人も減ってくるという中でどうやってまちづくりを進めていくかという風なことを捉えて、それにはやはり住民の皆さんと作っていかなければならないという形での市民協働になっている。

ですから、どちらかといえば、人が減り、行政側の職員が減りという中で出て来る課題に対して行政と市民の皆様がそのようなことを力を合わせてやっていくのかという風な視点からの組み立てをしているというのが現計画での市民協働である。

新しい第2次の総合計画でも市民協働を使っているが、この市民協働については、課題を共有して解決策を練り上げる時から一緒にやっていきましょうよという風な市民協働で使わせていただいている。この計画を作る際に、皆様から参加をいただいたワークショップ、こういったまちがあればいいよねとか、あるいはこういう施策があればいいよねという風なことが出てきた。出てきた課題に対してしからば解決するためには市役所が何をやり、みなさんが何をやるのかということも一緒に考えていただいた。本来であればそれが本当の市民協働だと思う。ただ、これまではそれができていなかった。ということで、字にすると同じだが、中身については今話したようにニュアンスが異なるので先ほど来市長も話しているように、ここに人と人の交流であるとか、あるいは地域と地域の交流、交流だけではなく物もあるし、情報もあるのでそのようなことをうまく表現できるような言葉を探すか作るかという風な形で、今お話したような思いを上手に表せればと思う。

「協働で暮らしやすさを実現するまち」の協働についても同じである。今までであれば、市民の皆さんから話を聞いて行政の方で解決策を考え、実施するという流れであったが、単に聞いて、施策を決定する過程では、全然こういったものはどうですかというように1回返すようなことが少なく、施策として決定したものを実施するという流れであるが、これからはそうではないということで、お話をし、できる範囲であればということであって、市役所がやれることであれば住んでいる皆さんもお手伝いいただくという風なことで進めていければこれまでよりは暮らしやすさも実感できるのかなということで書かせていただいている。

#### ○委員

市民協働という言葉が、我々も協力するから市民の人たちもやっていただきたいというような個人的にはそういうニュアンスをもっちゃっている。行政側の言葉ではないかなとイメージを感じているが、住んでいる人とか暮らしている人が何かを変えたいとか直したいとか、自分たちが感じていることを実現できるようにしたいということだと思う。

お願いするだけでなく、自発的に身の回りの問題を解決していけるようにするということですねきっと。

そのサポートを市がしていくんだという部分が、市民協働って分かるようで分からない言葉なような気がする。私も市民協働を説明しなさいって言われたら正直ちょっとこれまでのニュアンスと変わらないのでもう少し、市がサポートしていくんだ、一緒に考えていくんだというのが分かる言葉がい

いのではないかと思う。

○会長

ただいまの委員の発言は意見として事務局きちんと承ってそれを検討しながら答申に盛り込んでいくということをお願いする。

この問題については、ここで1回終わって、その他について質疑いただきたい。

○委員

政策3の部分であるが、広く文化という言葉を使用されているが、どういうものを想定して文化という総称名で書かれているのかを質問したい。

○政策推進課長

ここで使っている文化という部分については、基本的には生活様式とかそういったところまで含んでの文化ということのうちでは考えている。単純に文化というと小中学生の皆さんがやっている文化祭のイメージで一番考えやすいと思うが、どうしても芸術であるとか、音楽であるとかの発表会があるが、文化といったときには皆様が生活の中で育まれてきた、培われてきた風習であったり、あるいは伝統芸能であったりということまで含むのかと捉えている。

○委員

私のイメージは伝統文化の方なのかなと思っていた。なにゃとやら、大作太鼓などこの地域の中にはそういった伝統文化が息づいていると思う。そういったものを先ほどの協議にもあったように次代に紡ぐというか、つなげていくというもので載っているのかなと思っている。

そういったものがこの地域の特色であり、残していきたい文化ではないかなと風に思っているのがそれが具体的に挙がっていると市民として残していきたいよねということがあるんじゃないかと思うので意見とさせていただきたい。

○会長

これも意見として事務局で捉えて答申の段階で検討させていただくということをお願いする。

○委員

戻るようで申し訳ないが、冊子の9ページの体系イメージ、要はこの総合計画の冊子が出来上がって市民の方々は、この体系イメージを見て30年後の二戸市像をイメージすることになるのかなと思うが、みんなの夢があって、その下に目標があって、目指す姿があるという風にちょっとくどいというイメージがある。

審議会の方でこれだけ皆さんがいろいろ審議して、いろんな意見が出て、それをどんどん盛り込んで、思いがあって、こういう風な形で出てくるので、我々も中身を租借してお話しているが、なかなか理解が、もう少しシンプルにならないのかなという意見である。

挑戦します、次代へ紡ぐの中で、その挑戦するの具体的なものが総合計画の4つの柱とか政策としてのものという捉え方でいいのかどうかというのはお聞きしたい。

○政策推進課長

冊子の9ページということで質問いただいているが、質問は二戸市総合計画という枠の中のみんなの目標、目指す姿、4本の柱というあたりの部分であるが、みんなの目標については、どのようなま

ちということではなくて、皆さんでこういった形で一緒にやっていきませんかという目標であるのでそれは置かせていただきたい。

確かに順番に混んでいるが、目指す姿というのは先ほどお話申し上げたように、しごとをつくる、子育てを支える、暮らしを守る、まちをつくる、4本の柱を進めるにあたって人づくりと市民協働に取り組みましょうというような理念的なところなので、お話いただいたようにビジュアルというか、見せ方で整理するものなのか、書き方でまとめるものなのかそこは工夫をさせていただきたい。

#### ○委員

いわゆるビジュアル的なものだと思う。減らした方がいいとか削った方がいいという意見ではないので、最初に説明した時に平面的だというお話があったが、見た目が変わればもう少し整理されるのかもしれないが、そういったところを工夫いただければと思う。

#### ○会長

今、市長からもちょっとどういなというお話があった。もう少しシンプルに行こうという案が市長から出ているようなので、事務局後で検討してこの件も意見として承って次の答申の時に検討していただきたい。

#### ○委員

2つある。これを読んだ時に2番目の政策に子ども・若者・女性というのがあって、やっぱり人口問題を考えて来なきゃいけないなということで、すごく子育てとか色んなこととお話してきたが、結婚しなきゃいけないなと単純に考えたときに、若者支援も必要だと思う。この中に子育てと、お母さん方を応援して欲しいというのが、皆さんの意見が全部この政策に入って来たので、すごく今回も良かったなと思ったが、若者も孤独っぽいのでおせっかいお婆さんではないけれども、こんな人がいるよみたいなものもこれからは地域包括システムとかいるんなものがあるようなので、老人とか、孤独な方とか保護されなければならない方にも手が差し伸べられるようであるが、若者も何かそうだなということを1つ考えてこの会議に来た。

2番目であるが、私は福祉であるが、書類とかにはルビが入る。全部ルビが入る。大事なところと強調したいところにはできたらルビをお願いしたい。さっきの紡ぐは中島みゆきかなと思ってそれはまたいいなと思った。作業をして、そういうことをしなければならんだろうなということで紡ぐを使ったのではないかなと思っている。紡ぐ、いいかなと思ったがルビを入れたらいかがかなと、強調したいところに、ルビを入れていただいたらいいのかなと思う。市民の皆様にも。

#### ○総合政策部長

貴重な意見ありがたい。

今の意見も参考にさせていただくとともに、今日の皆さんの意見を聞いていて、こちらの考えていること、あるいは、皆さんからいただいた意見を反映して計画作りを進めているが、それが伝わらないとやっぱり何にもならないというか、いいものにはならないと考えている。

思いのところ、こういう風に決めたという背景をきちっと書き込まなければならない。それを伝えなければならないなと考えていて、その辺は見せ方の部分も含めて表現、背景、思いを工夫させていただきたいと思うのでよろしくをお願いしたい。

#### ○会長

それでは、まだまだあるとは思いますが、議事の(2)の二戸市人口ビジョン(案)及び総合戦略(案)でも(1)とかなり重なる分野もあるので、とりあえず人口ビジョンと総合戦略(案)について説明

をさせたいと思うがよろしいか。

## (2) 二戸市人口ビジョン（案）及び総合戦略（案）について

【資料の説明（政策推進課長が内容説明）】

### ○会長

事務局から(2)の議事について説明があった。

人口ビジョンのほか、はじめて総合戦略（案）も示された。これまでの審議会で議論を進めてきたが、私たちは、1、二戸市総合計画案、2、二戸市人口ビジョン、3、二戸市総合戦略、この3つについて審議をしている訳である。

総合計画案については先ほど市長から諮問され、次回の審議会で答申ということでまとまってきたが、この議事(2)は人口ビジョン、総合戦略ということで地方創生並びに人口減少対策に絞った内容になる。

今回はこれらの部分について意見を頂戴したい。

総合計画案を含めてどうぞ発言をいただきたい。まだ、ご質問、ご提言のない方はぜひ1つでもいいので意見をいただければありがたい。

### ○委員

このビジョンを作るときに大事なのは、人口減少という話をしているが、人口減少ともう1つ37%に及ぶ高齢化社会である。

その部分は全然盛り込まれていない。だから、高齢化社会になるわけだけでも65歳以上の人たちを生産人口の中に入れていけばいいわけだから元気高齢者をいっぱい作る、その方たちの技術とか子育ての持ってきたノウハウとかそういうものをいっぱい活用しながらやっていくという両方をやらないとたぶんうまくいかないと感じる。

### ○会長

ご意見であり、事務局でこの辺をどう考えているか説明をお願いします。

### ○政策推進課長

ご質問いただいた項目についてはそのとおりだと思う。あまりにも項目的なところの説明になったが、本編、正式な冊子については、その辺のところも考えながら書き入れるように進めさせていただきたい。

### ○委員

先ほどの総合計画の方もそうだが、若者と言ったときにどのくらいの人たちを若者と言っているのかなというのがある。主観で見ると私41歳、多分会長、市長から見ると若者に入るのはないかと思うが、20代の社員から見ればおじさんである。そこで読む人によって乖離が出てきているのかなという感じがする。

若者、女性と言った時に女性は多分若い人からお年寄りまでという意味だと思うが、男性は若者と高齢者のみ、中間は放っておいてもいいよという表現にも見えてしまう。

今回、人口の方もそうだが、国から若い世代の結婚、出産、子育てとなっているが、多分、若い人は勝手に結婚するし、子どもを産むが、我々団塊ジュニアくらいになると、今40歳代が人口の多くを占めているが、切羽詰っている。そろそろ産めるか産めないかという世代であるが、あまり

この辺には目を向けられていないような気がする。

周りにもいっぱい結婚も出産もしていない人がいて、だから何が悪いのという顔をして当たり前にいる。自由でしょと。個人的には自由ではないと思うが、そういった人たちを啓蒙したり、そろそろやばいですよという、ちゃんとした支援をしていかないといけないのかなと、将来に渡っても40歳で独身という人がもっと増えてくると思うがそういう若くない人たちをどうやって幸せに結婚していただくかという所に力を入れていった方がいいのかなと、二戸市に限ったことではないがそういう風に思っている。

#### ○政策推進課長

お話のあったとおりである。ただ、真ん中の世代を見ていない訳ではないので、若い世代の婚姻率のグラフも付けさせていただいたが、二戸市内で30歳までで結婚していない人が半数以上いる。成島委員のお話もあながち現実問題として我々が捉えて、ある程度個人の自由であるが、その場の提供であったり、いざという時に環境づくりはしていかないとならないのかなと思っているの、その点を含めて書き入れることで進めさせていただきたい。

#### ○会長

人口ビジョンを話し合うときに一番大事なことだと思うのでぜひもう少し肉付けをしていただきたい。私からもお願いしたい。

#### ○委員

総合戦略については、地方消滅から成り立っているかと思うが、つまり、このまちが消滅しないためにこれを一企業という風に、そういう立場であるので、捉えてみた。

会社が倒産しないために、総合戦略を立てる、あるいは事業計画を立てる、その場合に大事なものは売り上げが今後どうなるのか、利益水準がどうなるのか、そして、様々な経費あるいは設備投資を今後どうしていくかということなのかなという風に思う。

ただ、売り上げはこれから確実に減少していくという世の中になって、そこで利益は確保していかなければならないといった場合に、どういう風な施策を取るかということだと思う。

会社の規模は小さくても利益率の高い中小企業というのは世の中にたくさんある。その中小企業というのは技術力があったり、売れ筋の商品があったり、核となる営業力を持っていたり、様々、大手、大企業と違ったきらりと光るいいものを持っているからこそ利益が出る、利益率が上がる、ただ、売り上げはそんなに高いわけではない。なので、この二戸というのはどちらかというとこれから上場して大きくなるというのを目指すのではなくて中小企業の中でいながらきちんとした利益、財務の体質改善を図っていった利益率を高めていく、ではこの場合の利益って言ったら何なんだろうかという風に考えると売り上げが人口に対して利益って何だろうかと考えると二戸市の魅力というところになるのかなと考えている。あるいは宝というか。

それを押し量る指標は様々な出生率だったり、雇用の情勢の比率だったり、様々な比率で持って押し量ればいいのであって、中身は利益を高める。そこには30年後どうなっているか分からないが、こつこつと漆に力を入れていった漆を頂点とした核となる産業6次化が実っていたら、その肥やしを今のうちに作っていたら、それは大きな利益を生む原石になっていくのではないかなと、この戦略を1つの会社という風に見て様々考えてみた。参考にさせていただければと思う。

#### ○会長

行政を企業に捉えていい意見が出たと思うが事務局これについてお話があるか。

## ○政策推進課長

今、委員さんからいただいたように市役所自体の資源も減っていく訳であるので、このような中でどのようにして地域の皆様に自分が住んで良かったと感じていただけるか、要は地域の魅力に帰着すると思うのでその辺を踏まえて計画を作らせていただきたい。

## ○市長

貴重な意見ありがたい。何を持って収入にしていくのかなのか、これから何を持って雇用を生んでいくのかというのは、正にそのところに具体的な案が無ければ、ただ、絵に描いた餅に終わってしまうので、今とにかく漆だったら漆、果樹だったら果樹、畜産だったら畜産、あるいは子育てだったら子育てというものを、それぞれのこれから個別計画になると思うが、いかに実践的なものを作っていくのか、そして、これとこれとこれをもっていくと5年後にはこのようになりますと、そして10年後にはこうなりますという風なものを着実に進めていかなければ正に何を持って人口減少対策にするのかということになる。

その時にいかに市役所だけではなく市民の方、あるいは各団体の方たちからご協力をいただきながらそれを作っていかなければならないのかなと、漆だったら漆の団体とか、あるいは6次産業化を進めるのであれば売る方の人も含めながらそのところの大きいうねりを作っていかなければ1つの産業にならない。

福祉も全くそのとおりでと思う。子育ても、まずは二戸が何の強みを持っているのか、その強みをどう生かした計画をしていくのかという風なことを計画作りの中で盛っていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

## ○委員

特色を生かした取り組みということで、先ほど基本計画の中にあっただが、漆産業の振興ということで、総合ミュージアム化を目指すという具体的な計画のお話を伺いたい。

## ○政策推進課長

分かる範囲でということになるが、今、漆の関係では旧岡本小学校、天台寺の入り口のところに漆なり天台寺を中心とした交流拠点施設を作らしようという話で、合併の時以来であるが動いている。

こと漆に関しては、施設があればことが足りるということではなくて、ふるさと文化財の森なり、職人さんが実際に掻いている部分があり、滴生舎という漆を塗っている部分もある。浄法寺の方で取り組んでいただいているとおりに、「うるしまつり」なりということで、まちの至る所に漆の木を置きながら地域の活性化をしているというところもある。

1ヵ所で漆に関するすべてのことが完結するというわけではないので、このような今やっている取り組みも含めながら、まち全体が漆を感じられるようなまちにできればというようなことでの考えである。

具体的に何年に何をというところまではまだいっていない。

## ○委員

スピード感も持って、文化庁が今欲しいという部分であるので60tの需要があるという風にお聞きした。市長さんからもお話があったように原木の安定的な供給というのが必要になっている所かと思うのでよろしくお願ひしたい。

## ○委員

二戸市総合計画案や総合戦略案の方にも子育てに対してやさしいまちづくりということで、住民の

方、ワークショップの声も、ぜひここに力を入れていただきたいと思う。

先日、課長さんと当園の方に来ていただいて保護者の方、役員さんとお話し、意見を聞いてくださった。

そしたら、ここにも掲げているように保育料等の負担軽減があればなおうれしい。そしてやはり例えば一戸町に通われたり近隣市町村に比べてもう少しその辺が手厚くなればありがたい、それがどうして一戸町ができて、二戸市ができないかその辺が少し具体的に分かってありがたいということだった。

医療費の助成も、市の方で補助していただいているのはうれしいが、医療費助成にあたっては様々な事務の手続きが大変で、先ほどの課長さんのお話にあったように手続きのために精神的な負担等もあるのでその辺も改善していただければというお話をしていた。

元石切所保育所で子育て支援センターをやるということで、それに対しても非常に子育て支援について色々と考えてくださっているということも課長さんから話していただいた。

シビックセンターは、せっかく馬淵川公園ともつながっているのですこを小さい子ども達が遊べる場だったり、小さい子どもだけでなく世代間、お年寄りの方とかと交流できる場になればいいという意見があった。

後は、図書館ももう少し小さい子どもたちも周りの方に気兼ねなく絵本、本に親しむ環境であれば、なおありがたいなということ言っていた。

色々予算的に厳しいと思うが、ここら辺までは可能であるとか難しいというのを説明していただける機会があれば、今の若い保護者の世代の方たちもそこを納得した上で、市の方たちと意見を出し合いながら、先ほど協働するまちづくりという風なお話もあったが、そして一緒に考えを出し合いながら、二戸市の将来はそういう方たちが子どもを産み育てて子どもが帰って来る社会になっていけるのかなと思う。よろしくお願ひしたい。

#### ○教育長

図書館のご提言であるが、かなりお金をかけて2,000万円くらいかけてリニューアルした後喜ばれているのも事実である。確かに子ども連れのお母さんにとっては子どもがいくら騒いでも気兼ねが無いようにというのもそのとおりだと思うので、ガラスで仕切るとかそういうこともお金のかかることではあるが、そういうこともいいと今のご意見を聞いて考えている。検討したいと思う。

#### ○総合政策部長

シビックセンターの話をしていただいた。お話のとおりでシビックセンターは市民の皆さんの施設ということで先人を学ぶという役目もあるが、同時に1階の部分は市の宝であるとか伝統文化も見れるし、あるいはもっと広く市民の方々に気軽に使っていただけるような施設であればいいという風に考えている。その部分は確かに今不足している部分と捉えているので、今後の取り組みの中で早く幅広い活用の仕方もできるように運営も見直しをしていきたいと考えている。

#### ○委員

今日色々な方のご意見を聞かせていただいて、私も今地域おこし協力隊としてこちらの方に移住してきて地域おこしとか地域振興についてたくさん学ばせていただいているところで、今も観光の事業にすごく役立つご意見等々色々いただいたなと思って自分が学んでしまったなという会だった。

思うところはたくさんあるが、1つ移住者として言わせていただきたいところがあって、人口動向の特徴と人口減少の原因のところ、二戸市人口ビジョン案の14ページで30代前半くらいまである程度増加するものの転出による減少数に達しない状況とあり、これは戻りたいけれども希望する職種が無いなど雇用の受け皿、選択肢が少ないことが人口減少に影響しているということで、Uターン者

が帰らない理由というのが書いてあるのかなと思う。ただ、Uターン者は色んな思いがあって地域の外に出て勉強して、そこで自分がやりたい仕事を見つけて、外で自分がやりたい仕事があるから戻って来れないということがあると思う。

二戸市の産業の中で非常に外から見てすごく魅力的だと、例えば漆産業であるとか、そういったものがあるはずなので、そういったところで働きたいというニーズがあると思う。

そういうところから、二戸の文化とか歴史の価値をある程度見ていただいて、そこに対して移住して働いていきたいという方々がいるはずなので、そういう方々に対する受け入れを手厚くするということがすごく二戸の文化とか価値を高めながら移住者を増やすというシンプルな解決策かなと思う。

ただ、これによって劇的に人口が変わるという風には私は思わないが、自分たちの元々持っている歴史文化というものをより高めながら、外の目線も生かしながら地域の中で高めていく、ブランド化していくということに対して非常に有効だと思うのでぜひ積極的に取り組んでいただきたい。

#### ○総合政策部長

確かに一旦出てしまっただけで戻るといふにはある程度の覚悟だったりきっかけも必要だと考えている。ブランド化の関係になるかもしれないが、他のまちとの差別化をどういう風に図りながら魅力を高めていくかということになるかと思う。

魅力とか資源というものはあっても、それを外に出していったりと理解してもらわないとなかなか商品だったりブランドとしての価値も高まらないと考えている。

ひとつの取り組みのポイントとしては資源をどう生かしてブランドとなり、雇用だったり、産業につなげるかというのが大事だと思っているので、今の意見も踏まえて色んな施策に反映していきたい。

#### ○委員

今日意見を控えていたのは今回の総合計画にカーリング場という具体的な文言が出てきて、皆さんからそんなものはどうでもいいではないかというのがもし来たらどうしようというのがあったのでちょっとビビっていた。

まず、先週末ここでカーリング協会員同士の結婚式があって、この15年間で10組結婚した。協会員同士である。そういう環境があるんだなという風に思ったが、今、男性と女性が出会って結婚する場というのは、うちのまちだったら同じ学校、同じ職場、そして、文化、スポーツを一緒に楽しんでいるグループ、そういったところの人が考えている人同士見つけ合って結婚するんだろうなという風に思っている。

実際に岩手日報二戸支局さんでは二戸から2人の女性を引き抜いていかれた。岩手銀行さんでも二戸支店は当時から数名外に引っ張っていかれている。こちらに残っている方もいるが、そのように優れた職場、楽しいグループ、そしていい環境の学校、仲間、そういったものが知り合って、結婚して、子どもさんを育てていくということだと思う。

人口の移り変わりの話は理解できるが、そういう現在の二戸市で頑張っている方々がより輝いてより魅力的な方になればそこには必ず出会いが生まれるという風に思う。無理をして出会いの場を作るのではなくて今の環境をよりいいものにしていただければそこには新しい家族というものが生まれると思う。

という訳でカーリングは非常に貢献しているので、この具体的なカーリング場を検討してくださるということは非常にありがたいことであるし、スポーツの集まりの場、例えば、二戸であれば野球場、体育館、それこそ学校施設もあるが、そういったところでの魅力的な空間の創造というのが非常に現実的で夢のあるものだと思う。

ぜひそういうところの余裕ができて、人として魅力あるような暮らしが出来るような方々が集まれる集いの場所、コミュニティという考え方も運動施設というのはまちの活力になるという風に思う。

今回の総合計画の中でカーリング場という言葉が出てきたことで、これこそ、協働して一緒にがんばろうねという行政の皆さんからのメッセージを感じたものであって、私は今回のこの計画、総合戦略はまた別であるが、総合計画の中身というのは担当の方々が大変苦勞されて辛抱強く作って来られた計画だなという風にすごく評価している。とてもいいものを作っていたなと思う。

もう少し、もう一息だと思うのでどうか我々の気持ちを十分に汲み取っていただいて、30年後、いいまちに住んだなどと言ってお互いに肩をたたくような関係になればいいなと思う。感謝している。

○会長

カーリング場ができれば人口が増えるということを理解いただいて、岩手日報ではもう1人連れて行くと思うが、それは別としても大体予定とされていた時間になった。特になければ一応ここで意見交換を終わって議事の(3)、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いする。

(3) 今後のスケジュールについて

【資料の説明（政策推進課長が内容説明）】

○会長

日程については、市長の予定、事務局の考え方で事前にお知らせをして皆さんのご都合がいいところを選んで参りたいと思っている。よろしくお願ひしたい。

(4) その他

○政策推進課長

その他であるが、ご連絡とお願いをさせていただきたい。

ただいま総合計画あるいは人口ビジョン、総合戦略等についてこちらの案、かなり絞った形の案であるが出させていただいた。こういった形で審議会の場で様々ご意見をいただいているが、どうしても言い足りない、いやもっとこうだねということもあるかと思う。12月から1月にかけて委員の皆様のところはこちらからお伺いするような形で若干お話をいただければと思っている。

日程調整については後からさせていただきたいのでその際はご協力いただければと思う。よろしくお願ひしたい。

○会長

以上で本日の議事を終了させていただく。ご協力を感謝する。

4) 閉会